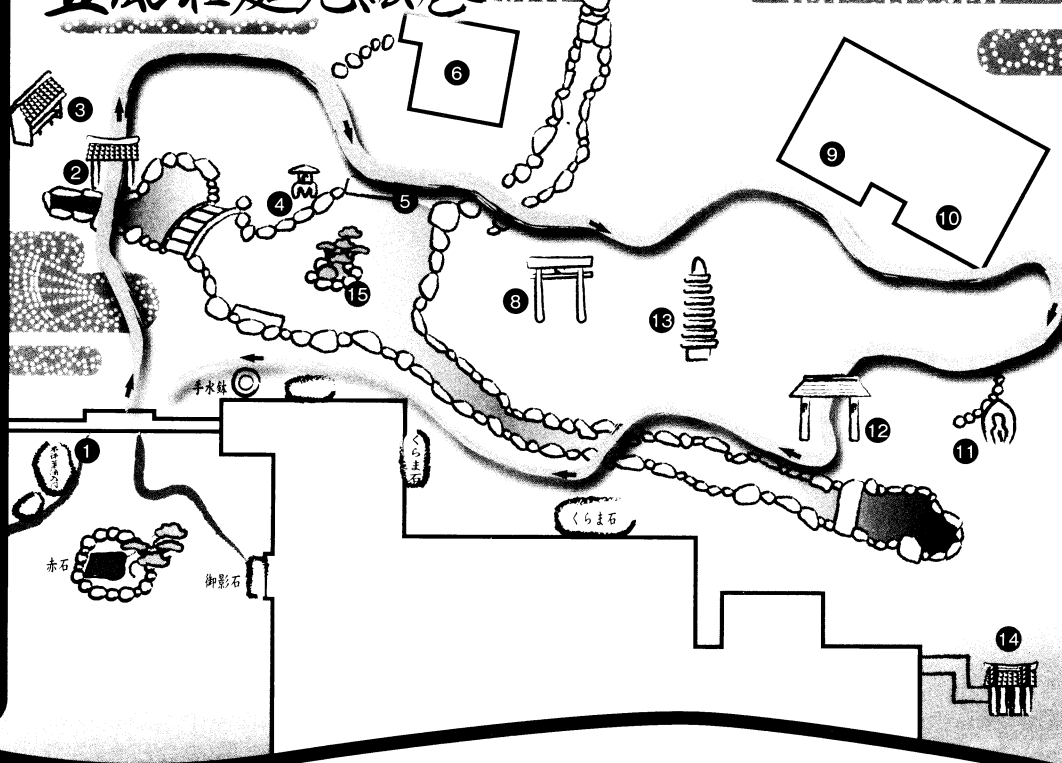


# 五風莊庭苑絵巻

## 和岸の心 五風莊庭苑絵巻



五風莊は岸和田城主岡部公のお茶屋跡に、岸和田の財閥である寺田利吉氏が昭和四年から十年をかけてつくられた邸宅です。敷地面積二、四〇〇坪、建坪三〇〇坪あります。当初「南木莊」と呼ばれておりましたが利吉氏のおくり名が五風院であることから「五風莊」とかわりました。三つの茶室と回遊式庭園があり、四季折々の変化をお楽しみ頂けます。

### 1 石柱

「葎酒山門に入るを許さず」とかいてあります。世俗との境界である門の中にお酒を持ち込まぬ様にとの意です。

### 2 為善門

重たい瓦屋根と細い木の柱とのアンバランスさを楽しむ門です。

### 3 待ち席

お茶の準備が整うまでのお席です。一番左側が正客様の席で、そこから右斜めの門と木の間を見るとある秘密が・・・。

### 4 雪見灯籠

雪が降った時に足下を照らす為の低い灯籠です。

### 5 船着き場

池をわざわざ船で渡る、という非日常の贅沢を行う事もあったそうです。月見の宴なども催されていたとか。

### 6 山亭

二面がガラスになっている為、部屋の内まで光が入る明るい茶室です。設計は木津宗詮氏、施工は地元大工で「大喜」という屋号の小川喜兵衛です。京都清水寺と同じ懸崖造りという建築様式です。自然に石から木が生えて入る様は、大工技術の素晴らしさが伺えます。

### 7

山の中の滝から水が集まり川となり海へ流れていく様を表して「山亭」といわれております。

### 8 屋敷神

岸城神社と同じ八幡神をまつています。戦の神をまつる事で屋敷をお守りして頂きます。お社は泉佐野の布田太鼓に屋根をつけたもので、屋根にのっていた座布団のふさの稲の見立てと、土台の海の魚の彫刻により五穀豊穡を願っています。

### 9 利庵・残月席

貴賓様用のお茶室で、頭を下げずに入る事ができる貴賓口があります。表千家の残月席の写しです。

### 10 利庵・八窓席

八つの異なる窓がある茶室です。にじり口で、残月席よりも小さい席です。山里に在るように趣向をこらしております。野仏が見えます。

### 11

山里に在るように趣向をこらしております。野仏が見えます。

### 12 船津橋ご門

船津席の橋柱を使用した門です。重厚な柱に軽い木造の屋根で、為善門と対照的な門です。

### 13 十三石の塔

文永元年(二六四年)と七百二十年前に造られた塔です。安土城に織田信長がもちこみ、その後大阪城や様々な場所を転々とし、寺田利吉氏が手に入れました。十三石の塔は初七日から三十三年の供養の目印です。

### 14 南木門

奈良の東大寺中性院の表門をもらい、立てられたそうです。最も古いものです。

### 15 蓬菜島

ひょうたん池の中心にある島で仙人が住んでいるといわれています。宝船の見立て岩から不老不死の薬を運んでいるところだす。